

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらりはーと秦野		
○保護者評価実施期間	2026年 1月28日		2026年 2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 1月28日		2026年 2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員定着率が高いこと	長期的な関わりを活かし、子ども一人ひとりの特性や成長の過程を継続的に把握できるよう意識している。日々の申し送りや記録を通して情報共有を行い、支援の一貫性を大切にしている。	長期的な関わりという強みを活かし、定期的なケース検討や振り返りの機会を設けることで、支援の質のさらなる向上を図る。また、経験年数の長い職員の知識や関わり方を共有する仕組みを整え、事業所全体の支援力の底上げにつなげていく。
2	専門性のある職員が多いこと	体操経験者、教員、保育士と各職員の専門性や経験を活かし、役割分担を意識した支援を行っている。また、活動内容や子どもの様子について専門的視点から意見を出し合い、多角的な視点で支援を検討している。	各職員の専門分野や得意分野を共有し、内部研修等を通して知識の共有を進める。さらに外部研修への参加や外部専門職との連携を図り、多角的な視点を取り入れながら専門性の向上に努める。
3	活動のねらいをもって実施していること	すべての活動に発達的なねらいを設定し、運動・協調性・社会性・自己肯定感等の向上につながるよう意識をして構成している。活動後には振り返りを行い、次回の改善につなげている。	活動ごとのねらいや成果を定期的に振り返り、子どもの発達状況に応じた内容の見直しや改善を行う。柔軟な視点を取り入れながら、より効果的で個別性の高いプログラム構成を目指していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	カリキュラムの柔軟性	計画的なカリキュラムは強みである一方、時間配分上の制約から柔軟性や出来ることが限られてしまうことがある。	計画的なカリキュラムを大切にしつつも、子どもの当日の体調や情緒面を踏まえた柔軟な対応を意識する。活動前後の振り返りを丁寧に行い、「ねらい」を保ちながら内容を調整できる体制を整えることで、より個別性の高い支援につなげていく。
2	外部との繋がり	他事業所や地域との連携、情報交換の機会が限られている。日々の支援業務に重点を置いているため、外部との交流や情報収集の時間を十分に確保できていないことが要因として考えられる。	他事業所や関係機関との情報交換の機会を意識的に設け、地域との連携強化を図る。外部研修や交流会への参加を通して新たな視点や支援方法を取り入れ、事業所の支援の幅を広げていく。
3	資格保有者の偏り	保有資格に一定の偏りがあり、専門分野が限定的になっている面がある。	不足している専門分野については、外部専門職からの助言や研修を積極的に活用する。また、職員それぞれの得意分野を明確にし、チームとして補い合える体制づくりを進めることで、多角的な視点を持った支援を目指す。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きらりはーと楽野

公表日 2026年3月5日

利用児童数 2026年2月 60名

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2		12		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2		10		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16				今年度始めてばかりで、まだ1度しか面談	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	1	8		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	29	事業所の支援に満足していますか。	17					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		運動ができるスペースを確保している		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		5名から6名体制で行っている		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			バリアフリーに関しては出来ている箇所と建築上出来ない箇所がある	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃、整備を行うようにしている		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室を用意している		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		ミーティングをし、支援の見直しを日々している		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		出来る限り改善するよう心掛け、保護者とコミュニケーションを図るようにしている		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		意見交換の場を作るようにし、繋げている		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		社内外問わず、研修に参加している		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		面談や子どもの様子から作成している		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		プランミーティングを行い、全員で検討、作成している		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		児発管を中心に行っている		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		四季や行事ごとを感じられる年間プログラム 固定化をしないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日必ず行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		必ず行っている終礼時に行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		日々の会話から意識をし、活動内にも取り入れるようにしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議には管理者もしくは児発管が必ず参画してる	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	会議に参加する等で連携をとるようにしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者へお願いをし情報を頂いている。 時には学校の先生よりお便りを頂くこともある	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		6	ここ数年該当児がいない	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		今後就労へ移行していく利用者が増えていくため、積極的に提供していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		出来ていない。賛否あるため対応を検討中。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		面談や送迎時、電話などで共有するようにしている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	なかなか保護者を交えたプログラムや研修は行えていない		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時や変更時に行うようにしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談時に行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		面談や送迎時、電話などで行うようにしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		6	できていない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		できる限り対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		FacebookやInstagramを通して情報を発信したり、毎月行事予定を配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		細心の注意を払い、厳重に保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		分かりやすく、的確に伝えるようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		ここ数年市で開催されているフリーマーケットに参加している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		お皿の色・形を変えたりしている。協力医療機関でエピペン研修を行って	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		調査、検討をし、記録に残して共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年に一回の研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			生命に危険が生じる場合。ケガのおそれがある場合のみだが、記載はしていないため、記録を残すようにする	